

教育大綱関連事業の平成29年度の成果と取り組みの方向性について

◆幼児期の取り組み

子どもの健やかな成長に向けた切れ目のない支援を推進します (決算額: 12,624,331 千円)

<主な事業>

◎民間保育所建設・増設支援事業 (ほいく課)

目的	民間認可保育所の設置等を支援し、保育所入所待機児童の解消を図ります。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等の保育所設置認可申請等の手続きを支援します。 ・社会福祉法人等に対して補助金を交付します。 				
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	新設保育所	既存保育所	地域型保育事業	H28 決算
	予定 (目標)	2 箇所	0 箇所	4 箇所	304,655 千円
	実績	2 箇所	3 箇所	4 箇所	H29 予算現額
	保育所を整備し子どもを安心して育てることができる環境の整備を図りました。 <事業内容(補助金活用整備)> (平成 30 年 4 月開所) ・キンダーガーデンりんかん、ヴィラまなびの森保育園、西鶴間保育園分園、 とちちゃんおむすび保育園、まあむベイビーズ中央林間 西鶴間保育園定員拡大 <事業内容(自主財源整備)> (平成 30 年 4 月開所) ・あっぷる園分園、たんぼぼ保育園、あおば保育園				246,806 千円
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・10 施設の整備に対して補助を行います。 内訳: 認可保育所 新設 3 施設、小規模保育施設 新設 5 施設、保育所 分園 2 施設				H29 決算
	<ul style="list-style-type: none"> ・既存認可保育所施設の定員拡大を含め、約 400 名程度の定員拡大を予定しています。 				246,292 千円
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所等に係る施設整備に対する補助を実施します。 				H30 予算
					311,508 千円

◆義務教育期の取り組み

夢や目標に向かってたくましく生きる子どもを育てます

(決算額:1,204,696 千円)

<主な事業>

◎放課後児童クラブ施設整備事業（こども・青少年課）

目的	放課後児童クラブへの入会希望児童数が、既存施設の定員を超えると予測される小学校について、放課後児童クラブの受け入れ体制の整備を行います。			
手段・手法	・小学校の敷地内に、専用プレハブ施設を建設します。			H28 決算
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	放課後児童クラブ整備施設数		0 円
	予定 (目標)	0 件		H29 予算現額
	実績	1 件		91,148 千円
	・林間小学校敷地内に、専用プレハブ施設を建設しました。 定員160名 延べ床面積400㎡			H29 決算
H30 年度の 取り組み	・緑野小学校の敷地内に、専用プレハブ施設を建設します。 定員 105 名(275 ㎡・軽量鉄骨・平屋)			86,479 千円
H31 年度の 方向性	・入会希望児童数の増加が見込まれる小学校については、適切な受け入れ体制の整備に努めていきます。			H30 予算
				96,664 千円

◎学力向上対策推進事業（指導室）

目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋」を開催し、児童の予習復習等の学習支援を行います。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において、授業中及び放課後の学習支援を行います。 		
H29 年度の 実績（成果） 等	指標	放課後寺子屋やまとの開催校	中学校学習支援の開催校
	予定 （目標）	19 校	9 校
	実績	19 校	9 校
	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校にて、予習復習等を行う「放課後寺子屋やまと」や「夏休み寺子屋」を開催しました。あわせて教員の授業力向上のための支援を行いました。 ・全中学校に中学校少人数指導非常勤講師（英語・数学）、中学校学習支援コーディネーター、学習支援員の合計 4 人を各校に配置し、授業中及び放課後の学習支援を行いました。 		
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、放課後子ども教室の開催日時に合わせて学校の空き教室等を活用した放課後寺子屋やまとを開催し、児童の学習支援を行います。 ・中学校において、少人数指導非常勤講師 2 人（英語・数学）、学習支援コーディネーター（1 人）、学習支援員（1 人）を各校に配置し、生徒の学習支援を行います。 ・中学校 3 年生に対する入試対策を、長期休業期間中に行います。 		
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における学習支援を推進していきます。 ・小学校教員の指導力向上への支援を行っていきます。 		

H28 決算
82,569 千円
H29 予算現額
136,988 千円
H29 決算
129,199 千円
H30 予算
142,999 千円

◎特別支援教育推進事業（指導室）

目的	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパーを配置します。 ・市内の小中学を対象に特別支援教育スクールアシスタントを配置します。 ・大和市特別支援教育巡回相談チームを各学校の要請を受け派遣します。 				
H29 年度の 実績（成果） 等	指標	特別支援教育ヘルパーの配置人数	特別支援教育スクールアシスタントの配置人数	特別支援教育巡回相談チームの派遣回数	特別支援学級新1年生に関する関係機関との連絡会
	予定（目標）	80 人	36 人	190 回	6 件
	実績	80 人	36 人	133 回	6 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育ヘルパーを配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の介助等にあたりました。 ・特別支援教育スクールアシスタントを配置し、教員とともに、通常学級に在籍する学習障がい等のある児童生徒の指導にあたりました。 ・特別支援教育巡回相談チームを派遣し、保護者及び教職員への支援を行いました。 ・医療的ケアの必要な児童生徒に対応するために、パイロット校 1 校に看護師を派遣する準備をしました。 				
H30 年度の 取り組み	・改修後の林間学習センターにおいて、特別支援教育等の総合的な施設としての開設準備を行います。				
H31 年度の 方向性	・大和市特別支援教育センターを開設し、特別支援教育等の充実を図っていきます。				

H28 決算	78,824 千円
H29 予算現額	85,561 千円
H29 決算	80,772 千円
H30 予算	100,347 千円

<主な事業>

◎小中学校防音設備整備事業（教育総務課）

目的	厚木基地の航空機騒音による影響を軽減し、教育環境の向上を図ります。			
手段・手法	・老朽化してきている防音設備（建具、内装、空調）の機能復旧を計画的に行っていきます。			
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	設計実施校数	工事実施校数	H28 決算
	予定 (目標)	小学校1校 中学校1校	小学校1校 中学校 2 校	350,917 千円
	実績	小学校1校 中学校1校	小学校1校 中学校 2 校	H29 予算現額
	<小学校> ・渋谷小学校の防音機能復旧及び大規模改修工事(平成 28 年度～29 年度)、渋谷小学校校庭整備工事を実施しました。 ・大野原小学校の防音機能復旧及び大規模改修工事設計業務委託を実施しました。			1,335,717 千円
	<中学校> ・南林間中学校及び下福田中学校の温度保持除湿機能復旧工事を実施しました。			H29 決算
H30 年度の 取り組み	・大野原小学校の建具、内装、空調設備の防音復旧及び大規模改修工事に着手します。 ・大野原小学校の工事を実施するために、仮設プレハブ校舎を建設します。			1,127,785 千円
H31 年度の 方向性	・大野原小学校の建具、空調設備の防音復旧及び大規模改修工事を引き続き実施していきます。			H30 予算
				611,257 千円

<主な事業>

◎不登校児童生徒援助事業（青少年相談室）

目的	不登校児童生徒の学校への再登校に向けて支援します。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒が通室する学校外の施設として、教育支援教室を開設します。 ・小中学校には登校できるが、教室で授業を受けることができない児童生徒への学習支援及び相談・家庭訪問を通して学校復帰を支援する不登校生徒支援員・不登校児童支援員を配置します。 		
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	教育支援教室開室日数	教育支援教室行事回数
	予定 (目標)	205 日	35 回
	実績	197 日	55 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒への支援として、不登校を考える保護者会等を実施しました。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援教室では、通室児童生徒に対して、カウンセリング・学習支援・人間関係づくり等の援助を行い、学校復帰に向けた支援を実施しました。 		
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援教室を市民活動拠点ベテルギウス 3 階に移転し、不登校児童生徒の支援を行います。 		
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携を深めた不登校児童生徒への早期対応と継続的な支援を行っていきます。 		

H28 決算
17,654 千円
H29 予算現額
22,634 千円
H29 決算
22,490 千円
H30 予算
22,733 千円

<主な事業>

◎英語教育推進事業（指導室）

目的	外国語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、言語、文化について理解を深めるコミュニケーションの向上を図ります。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動を充実させるため、外国語の音声や基礎的な表現に慣れ親しむことを目的に、外国語を母語とする外国語活動指導助手を配置します。 ・中学校の英語指導を助けるため、外国語の英語指導助手が各中学校を巡回し、指導にあたります。 ・小学校英語学習の全面実施を見据え、英語教育推進のための事業委託を行います。 			
H29 年度の実績(成果)等	指標	外国語活動指導助手 派遣回数	英語指導助手 派遣回数	小学校英語学習 実施校数
	予定 (目標)	1,500 回	630 回	19 校
	実績	1,523 回	631 回	19 校
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校へ英語指導助手、小学校へ外国語活動助手を派遣しました。 小学校 5, 6 年生:年間 35 時間、3, 4 年生:年間 17 時間 1, 2 年生:年間 5 時間、特別支援級:年間 2 時間程度 ・中学校外国語教育、小学校外国語活動の充実に向けて、引き続き英語教育スーパーバイザーを配置しました。 ・小学校外国語活動の充実に向けて、市内の全小学校において英語教育推進のための業務委託を継続しました。 ・夏休みにイングリッシュ・デイを開催しました。 			
H30 年度の取り組み	・市内小学校の外国語活動指導助手を増員し、英語教育を推進します。			
H31 年度の方角性	・平成 32 年度に予定される、新学習指導要領全面実施を見据えた小学校英語教育を推進していきます。			

H28 決算
88,717 千円
H29 予算現額
80,256 千円
H29 決算
79,324 千円
H30 予算
87,804 千円

<主な事業>

◎教育用コンピュータ整備事業（教育研究所）

目的	教育の情報化を推進するため、コンピュータ機器等の整備と保守を行います。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を業者に委託します。 ・校務用及び教育用コンピュータを教員数や児童生徒数、及び活用方法により適正な配置、整備を行います。 			
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	保守管理コンピュータ台数	校務用コンピュータ台数	教育用コンピュータ台数
	予定(目標)	3,454 台	1,095 台	2,415 台
	実績	3,482 台	1,095 台	2,387 台
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を行います。 ・ICT 機器を有効活用するため、ICT 支援員を配置します。 ・校務用コンピュータの保守管理を行います。 			
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、小中学校の職員室・コンピュータ教室等に設置した校務用及び教育用コンピュータの保守管理を行います。 ・授業を円滑に行うため、各小中学校に ICT 支援員を配置する業務委託を行います。 			
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータの保守管理及び ICT 支援員の業務委託を行っていきます。 ・児童生徒を対象としたプログラミング教室を開催していきます。 ・小学校の教員を対象としたプログラミング教育支援研修を実施します。 			

H28 決算
239,765 千円
H29 予算現額
244,563 千円
H29 決算
243,591 千円
H30 予算
253,185 千円

◆ 幼児期～義務教育期～青年・成人期の取り組み

健康に関する教育を推進します

(決算額:349,113千円)

<主な事業>

◎母子保健相談指導事業（すくすく子育て課）

目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための「プレママ・パパ教室」、「やまとイクメン講座」、「もぐもぐ教室」、「おべんとう教室」、「1歳児育児教室」を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・子育て支援ツールとしてIT機能を充実します。 ・公共施設に「赤ちゃんの駅」を整備しています。 				
H29年度の実績(成果)等	指標	プレママ・パパ教室参加延べ数	もぐもぐ教室参加者数	1歳児育児教室参加利用者数	2歳児歯科相談利用者数
	予定(目標)	1,440人	450人	500人	420人
	実績	1,187人	556人	454人	241人
	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届があった妊婦に、母子健康手帳を交付しました。 ・育児支援として、各種教室の開催及びIT機能を充実させた子育て支援メールの配信、「赤ちゃんの駅」の周知を行いました。 <p>プレママ・パパ教室 40回 やまとイクメン講座 3回 もぐもぐ教室 24回</p>				
H30年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発教室等を開催します。 ・引き続き、「らくらく予防接種」サイトの付加機能として、子育て何でも応援メール、電子母子手帳及び赤ちゃんまもるくんを運用していきます。 ・赤ちゃんの駅として、勤労福祉会館トイレにおむつ交換台を設置します。 				
H31年度の方角性	<ul style="list-style-type: none"> ・育児教室等を開催し、母子の健康に関する普及啓発、育児不安の解消に努めます。 				

H28 決算	2,692 千円
H29 予算現額	5,045 千円
H29 決算	4,819 千円
H30 予算	4,831 千円

<主な事業>

◎図書館管理運営事業 (図書・学び交流課)

目的	図書館の円滑な管理運営を行います。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行います。 図書館の運営に必要なインフラの管理をします。 渋谷図書館及び各学習センター図書室で必要とする消耗品等を計画的に調達します。 		
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	指定管理者との協議回数	
	予定 (目標)	24 回	
	実績	24 回	
	<ul style="list-style-type: none"> 大和市立図書館の指定管理による管理運営を行うとともに、中央林間図書館の開館に向けた準備を進めました。 中央林間図書館開館準備(図書配架計画作成、書架配架作業等) 初度調弁の購入(閲覧席等什器、事務所用什器等) 		
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 大和市立図書館、中央林間図書館及び渋谷図書館の管理運営を行います。 		
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷図書館を指定管理者による運営に移行します。 		

H28 決算
234,195 千円
H29 予算現額
502,334 千円
H29 決算
485,455 千円
H30 予算
533,631 千円

<主な事業>

◎生涯学習センター管理運営事業（図書・学び交流課）

目的	生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による管理運営を行います。 ・北部文化・スポーツ・子育てセンター(市民交流拠点ポラリス)開館に向けた準備作業を進めます。 			
H29 年度の 実績(成果) 等	指標	指定管理者との協議回数		H28 決算
	予定 (目標)	12 回		145,873 千円
	実績	12 回		H29 予算現額
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し、大和市生涯学習センターの管理運営を行いました。また、市民交流拠点ポラリスの開設に向けた準備作業を行いました。 ・市民交流拠点ポラリスの指定管理者を選定しました。 			140,451 千円
H30 年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市市民交流拠点ポラリスの開設準備を行います。また、指定管理者制度を活用し、大和市生涯学習センター及び大和市市民交流拠点ポラリスの管理運営を行います。 			H29 決算
H31 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センターを指定管理者による運営に移行します。 			138,310 千円
				H30 予算
				290,217 千円